

株主通信

2016年4月1日～2016年9月30日

株主の皆さまへ

将来の大きな飛躍に向け、
足元を固めつつ、新事業領域への
展開を加速します

連結業績ハイライト

TF NOW!

特集1

従業員がいきいきと働ける
職場づくり

特集2

トッパンフォームズが取り組む
文化貢献

連結財務諸表(要旨)

会社情報 / 株式情報

株主メモ



セグメント別売上高

印刷事業 1,018 億円 (前年同期比 2.4%↓)

商品事業 272 億円 (前年同期比 8.7%↓)

将来の大きな飛躍に向け、足元を

株主の皆さまには平素より格別なご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて第63期第2四半期(2016年4月1日～9月30日)の決算が終了いたしましたので、ご報告申し上げます。

当第2四半期の経営環境

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気の緩やかな回復基調が続いているものの、マイナス金利政策による金融機関の収益への影響の他、企業収益や個人消費の改善にはやや足踏みの動きが見られました。また自然災害の影響に加えて、中国をはじめとするアジア新興国などの景気低迷や、英国のEU離脱問題による海外経済の不透明感がさらに高まったことなどにより、不安定な状況で推移しました。

ビジネスフォーム業界におきましては、企業の経費削減の徹底や競争の激化による受注価格の下落、IT化・ネットワーク化の進展による紙媒体の需要減少に加え、人件費の上昇などにより、厳しい経営環境となりました。また標的型攻撃による個人情報漏えい事件などの影響もあり、情報セキュリティ対策の重要性がより一層高まりました。

大型案件の縮小や先行費用の発生などにより減収減益

そのような状況の中、当社グループは、ビジネスプロセスアウトソーシング(BPO)の受託拡大を図るとともに、帳票

固めつつ、新事業領域への展開を加速します

の運用管理を紙と電子の両側からトータルにサポートする「EFMS (Enterprise Form Management Service)」や、電子マネー決済プラットフォームなどの拡販に努めました。また持続的な成長の実現に向け、IT領域の開発強化にも積極的に取り組みました。

海外においては、香港に新工場を設けた他、各拠点の生産設備を拡充し、現地での競争力強化に向けた取り組みを推進しました。

これらの取り組みにより新規案件の獲得は順調に進みましたが、マイナンバー関連や一部得意先における大型案件の縮小、開発強化に伴うIT費用の増加などの影響により、減収減益となりました。なおセグメント別では、印刷事業は減収減益、商品事業は減収増益となりました。

ペーパーメディアとITを融合させた 当社独自のソリューションの展開を加速

当社グループでは中期経営計画の基本方針として「Information Management領域をドメインとした事業拡大を加速する」を掲げ、さまざまな取り組みを進めています。

当上半期は特に「EFMS」の、とりわけ電子帳票に関する領域のサービス拡充に注力するとともに、金融はもとより、製造や流通関連などさまざまな業界への提案を進めてきました。現在当社グループには、多くの引き合いが寄せられています。顕在化しつつある需要を着実に取り込みながら、下半期も継続してサービスならびに受託体制を強化し、紙

帳票と電子帳票を組み合わせた当社グループならではのソリューションの展開を加速させていきます。

スピード感のある事業展開の実現に向けて

当期から取締役を15名から11名にスリム化するとともに、独立社外取締役を2名に増員しました。社外からの新たな視点が増えたことで、自由闊達な意見交換のもと行われてきた議論は、より奥行きのあるものになってきたと実感しています。

また併せて執行役員制度の見直しも行いました。権限と責任を明確にし、「現場」の意思決定を重視することでさらにスピード感のある事業展開を実現していきます。

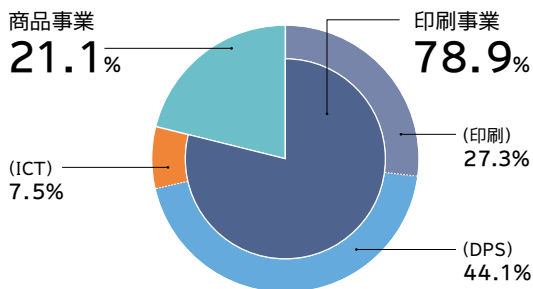
私たちを取り巻く環境は大きなうねりをもって変化し続けています。大変厳しい経営環境の中ではありますが、従来からのビジネスのさらなる強化と、新たな事業領域への展開をスピード感を持って進めていくことで、中長期的な成長を目指していきます。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも倍旧のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

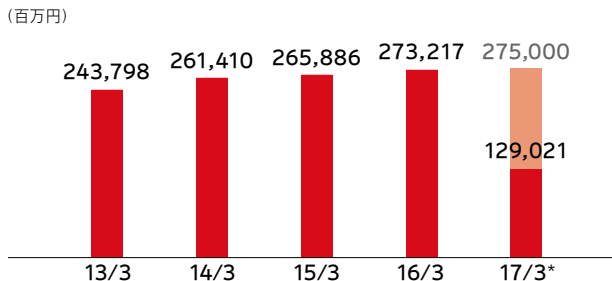
2016年12月
代表取締役社長

坂田 甲一

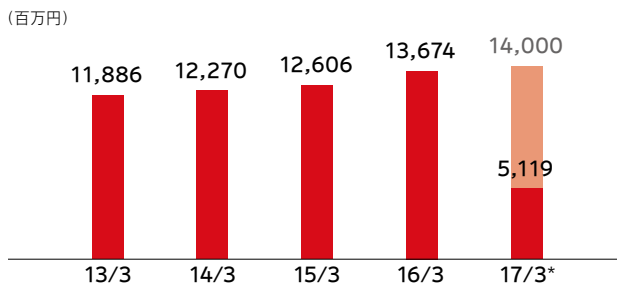
売上高構成比



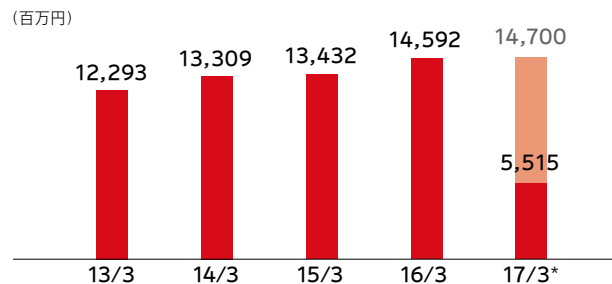
売上高 **129,021** 百万円 (前年同期比3.8%↓)



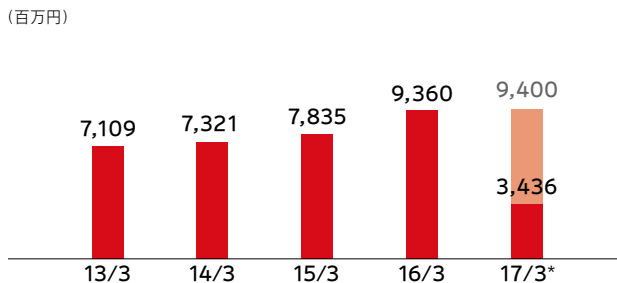
営業利益 **5,119** 百万円 (前年同期比20.1%↓)



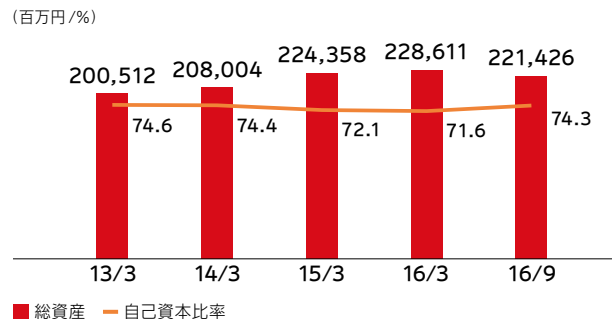
経常利益 **5,515** 百万円 (前年同期比20.4%↓)



親会社株主に帰属する
四半期(当期)純利益 **3,436** 百万円 (前年同期比26.8%↓)



総資産 **221,426** 百万円 自己資本比率 **74.3%**



TF
NOW!

2017冬季アジア札幌大会のオフィシャルスポンサーに!

2017年2月19日～26日に北海道の札幌市、帯広市で開催される2017冬季アジア札幌大会のオフィシャルスポンサーになりました。

本大会にはアジアの国と地域から多くの選手・スタッフが訪れます。当社は長年培ってきた情報管理ソリューションに関するノウハウを活かし、「個人情報管理および装備品管理サービス」の分野を通じて、本大会の安心・安全な運営を支援します。



TOPPAN FORMS

オフィシャルスポンサー

クリエイターとアートを通じてつながる 「きずな展」を開催

クリエイターの皆さまの作品をオークション形式で展示販売し、その売上金の全額を平成28年熊本地震復興支援の義援金として寄付するチャリティーイベント「きずな展」を7月に開催。約1,500人の方にご来場いただきました。ポストカード販売なども含めた総計約420万円を、日本赤十字社を通じて義援金として寄付しました。

多くの方にご参加いただき、誠にありがとうございました。



国連グローバル・コンパクトに参加

国連が提唱する「国連グローバル・コンパクト」(UNGC)に署名し、参加企業として登録されました。UNGCは各企業・団体が責任ある創造的なリーダーシップを発揮することによって、社会の良き一員として行動し、持続可能な成長を実現するための世界的な枠組みづくりに参加する自発的な取り組みです。昨年に創立50周年を迎えた当社は、新たな50年、100年に向けて、UNGCの「人権」「労働」「環境」「腐敗防止」の4分野にわたる10の原則を支持・実践し、さらに積極的にCSRの取り組みを推進していきます。



従業員がいきいきと働ける 職場づくり

経営信条である三益一如には「社会益」「会社益」に加えて、「個人益」という考え方があります。これは従業員一人ひとりの活躍により、豊かな社会を実現することを目指す考え方で、そのためにも心身の健康を維持し、いきいきと働く環境を整えることが重要と捉えています。

当社はダイバーシティの基盤づくりとして「健康経営」を推進し、生活習慣病対策、禁煙対策、メンタルヘルス対策、家族の健康推進の4つの施策を柱に取り組んでいます。



生活習慣病対策

当社は創立当初から部活動の奨励や始業前のラジオ体操などを積極的に行ってきました。近年は従業員が自身の健康状態を知る機会として、健康診断に加えて体力測定やかむ力チェックなどを実施し、自発的な改善活動につなげています。

まずはできることから

私は総務部で健康経営の推進・運営に取り組んでいます。健康に関するさまざまな情報を得ていくうちに、私自身健康への意識が高まり、同僚とウォーキングしながら帰宅するなど、仕事とのバランスを取りながら、日々の生活に運動を取り入れるようになりました。

週末に健康関連のイベントを企画するなど、従業員の新たな交流の場を創出することで、心身ともにリフレッシュできる環境を今後も提供していきます。



総務本部総務部
山岡 陽子



体力測定



ラジオ体操

禁煙対策

2006年から禁煙治療に保険が適用されるようになり、当社では2014年から、本社内の診療所において禁煙治療の診療を開始。喫煙者の割合も減少し、多くの従業員が禁煙に成功しています。

これからもずっと趣味を続けるために

禁煙のきっかけは、趣味で続けているサックスをずっと楽しみたいと思ったからです。楽器を吹くには肺活量や歯の健康が重要ですが、喫煙によってあまりよくない状態と診断されました。早速本社診療所の診療・指導を受けながら、少しずつ禁煙を実施。診療所が同じビル内にあるため無理をせず治療を続けられ、ヘビースモーカーと言われていた私でも禁煙を達成することができました。そのかいがあって今も毎週楽しくサックスの練習に励んでいます。



営業統括本部
BPO事業部長
東 信哉

35歳以上における喫煙率の推移

2010年 38.0%
↓
2015年 26.8%



メンタルヘルス対策

ワーク・ライフ・バランスの積極的推進やメンタルヘルスケアの充実、ノー残業デーの設定とパトロールの実施、「夏の生活スタイル変革～ゆう活～」など、働き方を見直し、より充実した生活を促進する取り組みを行っています。



家族の健康推進

従業員の健康と同様に、家族の健康も大切だと考えています。被扶養者健診受診の促進に加え、週末のウォーキングイベントやスポーツイベントの開催など、従業員が家族と一緒に楽しめる活動を実施しています。



トッパンフォームズが 取り組む文化貢献

当社は長年培ってきた高度な印刷技術を活かした文化貢献に取り組んでいます。特にその形状と希少性から、公開期間や場所が限られてしまう絵巻物の高品位複製に取り組んでおり、貴重な絵巻物を所蔵する美術館や博物館などからのご依頼にお応えしています。ここでは当社が保有する技術と、それらを活かした文化貢献活動についてご紹介します。



当社ならではの文化貢献として

当社は設立当時から培ってきた紙帳票の製造・ハンドリング技術に強みを持っています。近年それらの印刷技術を活かしてさまざまな新商品を開発していますが、文化貢献という側面から絵巻物の高品位複製にも取り組んでいます。

複製に使用される長尺印刷の技術は、ロール状の原紙に印刷をしてロール状に巻き取るというビジネスフォームの製造工程から生まれました。切れ目のない数十メートルの印刷が可能な長尺印刷は、絵巻物の複製にうってつけの技術です。ただ複製された絵巻物を手にとって間近で見えていただくためにも、ゆがみなく場所ごとで色の再現に差が出ないように厳密な管理・調整が必要とされます。絵巻物の複製は、当社が今まで培ってきたノウハウや知見があってこそ実現できる技術の結晶なのです。



絵巻物の文化を後世に継承していくには、デジタルアーカイブ化することに加え、「紙」というオリジナルに近い形で残すことも重要だと考えています。現代でも数百年前に絵巻物を楽しんだ方たちと同様の感覚を味わえるという点で、非常に意義のある取り組みだと思っています。



企画本部コミュニケーション開発部長
紀井 規子

鑑真和上の偉業を後世に伝える重要文化財「東征伝絵巻」を高品位複製



奈良・唐招提寺が
所蔵する重要文化財
「東征伝絵巻」第一巻より

唐招提寺、凸版印刷、トッパンフォームズの三者が共同で重要文化財「東征伝絵巻」の高品位複製を制作しました。このプロジェクトでは、凸版印刷が自社開発した文化財専用的高精細スキャナーによりデジタルアーカイブ化。そのデータを活用して、トッパンフォームズの長尺印刷技術で特殊な用紙に印刷を施しました。

質の高い仕上がりに、「東征伝絵巻」を所蔵する唐招提寺の西山長老からは「東征伝絵巻は奈良時代の鑑真和上の生涯を世に広めようと、鎌倉時代に極楽寺の僧、忍性が発願し、作らせたものです。これを平成の時代に、トッパングループがデジタルと紙で複製し、さらに多くの人に広めてくれました」とのお言葉をいただきました。

絵巻物本来の見方や触感を伝える本物さながらの仕上がりに、鑑賞だけでなく教育や研究分野へと活用の幅が広がっています。



絵巻物の複製を唐招提寺に奉納する様子



奈良国立博物館の体験イベントに協力

奈良国立博物館で開催された生誕800年記念特別展「忍性」に併せて行われた、小・中学生向けイベント「きく!みる!ふれる!東征伝絵巻」で、高品位複製の絵巻物が使用されました。イベントに参加した子どもたちは、大画面に投影されたデジタル絵巻コンテンツに加え、精細に複製された「東征伝絵巻」を実際に触りながら、壮大な物語を楽しみました。

連結財務諸表（要旨）

連結貸借対照表

（単位：百万円）

科 目	前連結会計年度 (2016年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2016年9月30日)
資産の部		
流動資産	128,291	122,877
固定資産	100,320	98,548
有形固定資産	71,012	69,268
無形固定資産	6,284	5,650
投資その他の資産	23,024	23,630
資産合計	228,611	221,426
負債の部		
流動負債	56,025	48,985
固定負債	6,801	5,927
負債合計	62,827	54,913
純資産の部		
株主資本	161,648	163,763
資本金	11,750	11,750
資本剰余金	9,270	9,315
利益剰余金	145,544	147,614
自己株式	△4,916	△4,916
その他の包括利益累計額	2,083	810
非支配株主持分	2,053	1,939
純資産合計	165,784	166,513
負債純資産合計	228,611	221,426

連結損益計算書

（単位：百万円）

科 目	前第2四半期 連結累計期間 (2015年4月1日～ 2015年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (2016年4月1日～ 2016年9月30日)
売上高	134,118	129,021
売上原価	106,094	101,714
売上総利益	28,023	27,307
販売費及び一般管理費	21,616	22,187
営業利益	6,407	5,119
営業外収益	607	483
営業外費用	83	86
経常利益	6,931	5,515
特別利益	625	85
特別損失	152	74
税金等調整前四半期純利益	7,405	5,526
法人税等合計	2,662	2,028
非支配株主に帰属する四半期純利益	48	61
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,694	3,436

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

科 目	前第2四半期 連結累計期間 (2015年4月1日～ 2015年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (2016年4月1日～ 2016年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,154	4,346
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,952	△4,123
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,420	△1,394
現金及び現金同等物の期首残高	53,497	59,494
現金及び現金同等物の 四半期末残高	48,979	57,951

会社情報 / 株式情報

会社概要 (2016年9月30日現在)

商号	トッパン・フォームズ株式会社
英文名	TOPPAN FORMS CO., LTD.
本店所在地	東京都港区東新橋一丁目7番3号
電話	(03) 6253-6000 (ダイヤルイン案内)
設立	昭和30年5月2日
資本金	117億5,000万円
発行済株式総数	115,000,000株
従業員数(単体)	1,921名
従業員数(連結)	11,899名

役員 (2016年9月30日現在)

代表取締役会長	櫻井 醜
代表取締役社長	坂田 甲一
専務取締役	増田 俊朗
専務取締役	亀山 明
常務取締役	福島 賢一
常務取締役	浜田 光之
取締役	足立 直樹
取締役(社外)	ルディー 和子
取締役(社外)	天野 秀樹
取締役	福島 啓太郎
取締役	岡田 康宏
監査役(常勤)	堀 喬一
監査役(社外)	木下 徳明
監査役	佐久間 国雄
監査役(社外)	尾畑 亜紀子

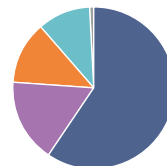
株主(上位10名)・株式分布状況 (2016年9月30日現在)

株主名	当社への出資状況	
	株式数 (千株)	持株比率 (%)
凸版印刷株式会社	67,419	60.74
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	6,352	5.72
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	3,293	2.97
CBNY - GOVERNMENT OF NORWAY	2,329	2.10
トッパンフォームズグループ従業員持株会	2,084	1.88
資産管理サービス信託銀行株式会社	1,627	1.47
UBS SECURITIES LLC - HFS CUSTOMER SEGREGATED ACCOUNT	1,452	1.31
J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 380578	1,334	1.20
野村信託銀行株式会社	777	0.70
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	703	0.63

注1. 当社は自己株式4,003千株を保有しておりますが、上記の表から除外しております。
注2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

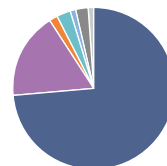
所有者別株式分布状況

■ その他法人	68,675千株 (59.7%)
■ 外国法人等	19,047千株 (16.6%)
■ 金融機関	14,473千株 (12.6%)
■ 個人・その他	12,168千株 (10.6%)
■ 金融商品取引業者	635千株 (0.6%)



所有株数別株式分布状況

■ 100万株以上	86,157千株 (74.9%)
■ 10万株以上	18,405千株 (16.0%)
■ 5万株以上	1,854千株 (1.6%)
■ 1万株以上	3,262千株 (2.8%)
■ 5千株以上	1,414千株 (1.2%)
■ 1千株以上	2,834千株 (2.5%)
■ 1千株未満	1,071千株 (0.9%)



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
株主確定基準日	定時株主総会・期末配当 3月31日 中間配当を行う場合 9月30日 その他必要があるときは、 あらかじめ公告いたします。
公告方法	電子公告により、当社ホームページ (http://www.toppan-f.co.jp/) に掲載 いたします。なお、やむを得ない事由により、 電子公告によることができない場合は、日本 経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人・ 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 0120-232-711 (通話料無料)
1単元の株式の数	100株
上場金融商品取引所	東京証券取引所
証券コード	7862

ご注意

1. 株主さまの住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則として口座を開設されている証券会社などが受付窓口となります。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行株式会社)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。郵便物などの発送・返戻、未受領の配当金などにつきましては三菱UFJ信託銀行株式会社で承ります。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社で受付いたします。
3. 特別口座に記録された株式を市場で売却する場合は、特別口座から直接売却することができませんので、証券会社などの口座に振り替える必要がございます。

トッパン・フォームズ株式会社

本店 〒105-8311 東京都港区東新橋一丁目7番3号
<http://www.toppan-f.co.jp/>